

医学生・看護学生からのメッセージ

小林哲之さん
千葉大学医学部医学科6年



～医療者の信念と正義に従って～

僕が大学1年生の時、大震災が起きました。ボランティア活動を通じて、暮らしや仕事が健康に与える影響を学びました。行政や社会に働きかける事も、大きく見れば医療者の使命の一つであると感じ、その頃から様々な社会問題を医療者の視点から考えるようになりました。

「自衛隊員」という職業は健康にいいのだろうか?ふとそう思ったのがきっかけで、戦争や安全保障について医療者として言えることはないか考えるようになりました。彼らは命令を拒否できません。それが死のリスクを伴う戦闘行為であってもです。この職業の健康を守るためにには、他の誰かが政治に訴えなければならないのです。

僕は安全保障の専門家ではありません。しかし安保法制は専門家も厳しく批判する内容であり、与党の独善的判断で可決されたことは明らかです(強行採決の瞬間がYoutubeに上がっていますのでご覧ください)。僕は医療者の信念と正義に従って、堂々と発言しようと思います。皆さんも一緒に声をあげませんか。

看護学生ミーティングでの学びから

～「戦争法廃止」を真剣に考える機会に～

山梨看護学生ミーティング

看護学生の集まりで“戦争と平和を学ぶ”をテーマに憲法の学習と、昨年夏にNHKで放映された「戦後70年記念番組」に投稿し取材を受けた方からの戦争体験をお聴きました。学生たちは衝撃を受け以下のような感想が出されました。

- 今の生活に感謝をしなくてはいけない。この先、二度と戦争を起こさないために、社会情勢を知り自分の考え方を持つことが必要だと感じた。
- 戦争は何が何でもしてはいけないということがわかった。話を聞き実際起きたことを想像してみると言葉が出なかった。
- 取材で初めて語ったことを聞いて(70年間家族にも話せなかった)、戦争の辛い思いは戦争中だけではなく一生続くものなのだと思うと心が痛かった。

今年から選挙権を持つことになる学生が社会の事実を知り「戦争法案廃止」に向けて真剣に考えました。



一緒に考えよう、医療と平和・民主主義

スマホからも読める！ Medi-Wing バックナンバーから^{(*)注}



Medi-Wing 63号 民主主義ってなんだ??DISCUSSION-Medical Student with SEALDs

特定秘密保護法、集団的自衛権…。戦争を放棄した日本国憲法の原典が空洞化し、日本が再び戦争へすすむ様相を呈する今日。戦争・平和だけでなく、貧困・雇用など多くの社会問題を真剣に考え、行動するSEALDsと医学生が自分たちが主体者として社会にどう向き合えるか??ざっくばらんに交流しました。



Medi-Wing 49号 医師の使命—学び、活かし、伝える— 日野原重明さんインタビュー

戦争法に対しても、痛烈に批判し、「医師こそ平和の最前線に立って、行動すべき」と主張された日野原重明さんへのインタビュー。憲法を守る運動に医学生として参与することを強く求めておられます。



9条の会・医療者の会

9条の会の呼びかけに賛同する医療者の会はHPを運営しています。メッセージなどを発信することも可能。FBページやツイッターもあります。

9条の会・医療者の会 [検索](#)

(*)注)全日本民医連医師臨床研修センターイコリスのページから読むことができます。 <https://aequalis.jp/>

*署名は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣あてのものです。押印は不要です。
*ネット署名もあります。Change.orgでのネット署名は、制度上、総理大臣あてのみ有効となりますので両院議長への請願署名をご希望の方は自筆での署名をお願いします。

<https://www.change.org/p/内閣総理大臣-安倍晋三様-戦争法の廃止を求める統一署名>

Post Card



1 1 3 - 8 7 9 0

料金受取人払郵便
本郷局承認
8693

差出有效期間
平成27年6月1日から平成29年5月31日まで
切手はいりません

東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター7階

全日本民主医療機関連合会

医学生担当 行



Voice 私のひとこと



Medi-Wing
医学生と民医連の情報誌
戦争法の廃止を求める2000万人署名
医系学生特別号 2016 SPRING